

# 人間総合科学研究科 医学セミナー

放射線高感受性遺伝疾患の原因遺伝子とがん放射線増感

日時：2014年7月17日(木)18:00～20:00

場所：陽子線センター3階 カンファレンス室

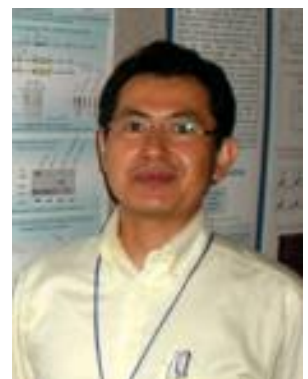
※事前申し込み不要 直接お越しください

## [セミナー概要]

放射線高感受性遺伝病は高頻度のがん発症を伴う例が多い。  
ナイミーヘン症候群（Nijmegen breakage syndrome : NBS）も高  
発がん性と放射線高感受性を示す希な遺伝疾患の一つである。ほぼ全ての  
NBS患者が小頭症と発育遅滞、免疫不全を示し、相当数の患者で湾曲  
指症等の奇形も認められるほか、若年でBリンパ腫を発症することも多い。

本セミナーでは、NBS患者の臨床症状ならびにNBS1タンパク質の分子  
機能を紹介するとともに、我々が取り組んでいるNBS1タンパク質の  
機能を標的とした放射線増感に関する基礎研究について紹介する。

茨城大学  
理学部 生物科学コース  
大学院理工学研究科理学専攻生物系 教授



講師：田内 広 先生

世話人教官

医学医療系生命医科学域 坪井康次

問い合わせ

陽子線医学利用研究センター 事務室 内線：7100